

鄒平
(Zou Ping)



大地実験幼稚園園長

北京市大地実験幼稚園園長、北京市大地幼児教育センター主任、北京市陳研会理事、北京市保教協会理事、中学高級教師。

26年間幼児教育に従事し、数多くの国家レベル及び市レベルの教育研究課題に参画した。就学前の児童教育管理、教師育成、カリキュラム改革及び幼稚園の発展などの面において、大量の研究を重ね、研究成果を得た。2009年に第1回目の全国優秀私立幼稚園園長賞を受賞した。

全国及び市のコンテストで数多くの論文賞受賞。その中、「児童が愉快的読書習慣の養成及び適切な教育行為についての研究」という論文は、中国教育学会第18回目優秀論文賞二等賞を受賞し、北京市就学前教育”第十次五カ年計画”優秀論文賞一等賞も受賞した。北京師範大学出版社『児童の良好習慣の養成シリーズ』の編集委員を務めた。

資源共有と双方協力によって小学校入学適応能力を高める

幼小接続というのは、幼稚園と小学校の間、教育教養内容や実施方法の面において、相互の情報を共有し、双方で接続させることである。事前調査研究、数理的分析及び研究の必要性和実行可能性をベースにして、「幼小接続・教育一体化」の管理方式プロジェクトの研究を確立し、“資源共有、双方接続”及び“入学適応性”の研究と実践を試み、新しい時代の幼小ドッキング管理方式を模索し、幼稚園と小学校教育促進の実効性のあるカリキュラムの構築、教育管理の質をアップさせる。「幼小接続・教育一体化」の管理方式の研究を通して、整合性と発展性のある学習環境を作り上げ、児童の入学適応能力を高め、就学前の児童が小学校への「自然かつ円滑的移行」を実現させる。

「幼小接続・教育一体化」の管理方式は、幼稚園と小学校の共同管理及び教育協力、さらに、カリキュラムと教育方法について互いに情報共有・接続することによって、就学前の段階と小学校の段階2つの教育機関の双方向的接続を促進し、教育のステップ・アップと一貫性を強調する。決して幼稚園を小学校化することではない。

幼小接続クラスを小学に付属して設立し、小学校の廃校舎、教員と場所などの教育資源を利用して他所にて幼稚園を設立する。こうすると、資源の共用、教育の共用、現有資源の利用効率の最大化、教育の実効性の向上を実現することができ、小学校の生活環境と文化的環境をリアルに提供し、環境の影響、生活の浸透によって、子ども達に小学校と幼稚園の生活様式や学習方式における相違を直感させることもでき、子ども達がしだいに順応し自然に移行するのに役立つであろう。

幼小接続カリキュラムは『幼稚園教育指導綱要』、生態システム理論、生涯教育思想を指導思想として、就学前児童の心理面の発達の特徴、発達の必要性和幼児に求められる入学順応性にそって幼小接続教育を実施し、幼稚園と小学校を互いに接続し、「幼小接続カリキュラム」を共同開発する。幼児の心身発達を促進する上で、幼児の入学順応能力を高め、二段階教育の平穩的移行を実現し、幼児達が健康的に、楽しく、自信を持って、自立的に小学校の生活に適応し、幼児の持続的発展と生涯学習の基礎を定めるのがその目的である。